

| 一級自動車工学科・自動車整備科 | | 2023年度 | | 授業計画 | |
|---|---------|--------|------------------------------|------|------------------|
| 時期 | 2年B巡 | 単元 | 実習 | 教科名 | CVT分解組立 |
| 科目 | 自動車整備作業 | 教科書等 | バインダー グローブ | 発行日 | 2023年4月1日 |
| 総時限 | 18時限 | 持参品 | マーカーペン2色以上 TS3級シャシ(AT)教科書 | 教科担当 | 鍋谷 ● ■ 馬場 ● ■ |
| 1. 指導教員の実務経験 | | | | | |
| 自動車整備士としてシャシ装置分解点検整備の実務経験がある教員により、動力伝達装置のCVTの構造、作動、制御、システム等について指導する。 | | | | | |
| 2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入) | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・CVTを分解し、各部を観察する事により作動のイメージを身に付ける ・各部の名称を把握する ・CVTの作動原理を理解する ・プーリー及びベルト、コントロールバルブの交換作業が出来るようになる ・国家試験及びTS3級試験での出題対策を実施する | | | | | |
| 3. 授業の到達目標 (何を理解し何が出来ようになるのか) | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・非分解式であるCVTの構造を理解する ・プライマリ、セカンダリプーリーの役割を理解する ・スチールベルトの構造、役割の理解する ・圧縮作用におけるプーリーの回転を理解する ・動力伝達経路を理解する ・ATとの違い、CVTの利点を理解する ・CVT子部品の交換作業が出来る知識を得る | | | | | |
| 4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目) | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・実習履修試験での得点評価 整備科60点以上で合格 工学科70点以上で合格 80点以上：「優」 60点以上（工学科は70点以上）：「良」 60点未満（工学科は70点未満）：「未」 再試験合格の場合得点に関わらず：「可」 再試験不合格の場合、学校長の権限により判定試験を実施し、合格の場合「可」 | | | | | |
| 出題試験項目 | | | | | |
| ① 名称試験：20点 | | | | | |
| ② 実技試験：動力伝達経路の理解度確認20点、コントロールバルブ、プーリー及びスチールベルトの脱着20点 | | | | | |
| ③ 筆記試験：40問 | | | | | |
| 5. 準備学習 | | | | | |
| 2級シャシ 第2章動力伝達装置 P.50～P.52 構造機能 (2) 無段変速機 (CVT) 及び P.64 整備 (2) CVT 日産テキスト3級シャシ (A/T編) P.108～P.174 (CVT概要、CVTのシステム構成、入力・出力信号、前後進切替機構、油圧制御システム、各種制御、点検整備、付録) | | | | | |
| ※ ● ⇒実務経験がある教員 | | | | | |
| ※ ■ ⇒日産資格保持者 | | | | | |

